

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 日東電工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6988 URL <http://www.nitto.com/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 秀雄
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 グローバル経営企画統括部長 (氏名) 山下 潤 TEL 06-7632-2101
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日 配当支払開始予定日 平成29年11月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	427,052	20.3	68,242	133.0	68,352	136.9	47,598	129.6	47,554	131.1	53,217	—
29年3月期第2四半期	354,978	△14.6	29,293	△51.3	28,851	△51.7	20,733	△55.3	20,576	△55.5	△10,538	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	292.87	292.55
29年3月期第2四半期	126.78	126.61

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	943,184	695,543	694,868	73.7
29年3月期	879,899	654,421	653,772	74.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
30年3月期	—	80.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	80.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	860,000	12.0	135,000	45.8	135,000	47.1	98,000	53.9	98,000	54.4	603.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	173,758,428株	29年3月期	173,758,428株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	11,352,358株	29年3月期	11,434,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	162,378,087株	29年3月期2Q	162,303,343株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

第一部（参考）平成30年3月期第2四半期（3ヶ月）の連結業績
 （平成29年7月1日～平成29年9月30日）

（百万円未満切捨て）
 （％表示は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期 第2四半期	225,865	21.1	37,902	115.9	37,875	115.1	27,229	96.4	27,206	97.5	31,734	193.5
29年3月期 第2四半期	186,566	△12.2	17,552	△47.7	17,605	△46.6	13,866	△50.0	13,774	△50.2	10,812	2.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	167.52	167.38
29年3月期第2四半期	84.87	84.76

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)における経済環境は、先進国での金融緩和による緩やかな景気回復が安定的に継続しました。さらに金融緩和からの転換を図る欧米先進国に対し、利下げ余地のある新興国にも景気拡大が見られ、全世界的に景気回復によるプラス成長となっています。日本も北朝鮮情勢の緊迫化が一時的に金融市場などに動揺を与えましたが、衆議院解散総選挙後も、これまでの政権運営および経済政策に大きな変化はなく好調な企業業績が継続するとの見方から、世界同時の経済成長を支えています。

このような経済環境のもと、当社グループは、主力のオプトロニクスにおいて、前年度から好調が続くディスプレイや半導体などのエレクトロニクス市場を中心に、お客様の要望に応えた付加価値の高い材料や製品を供給することができ、期初見通しを大きく上回る業績を上げることができました。インダストリアルテープにおいても、同様にエレクトロニクス市場の生産拡大に追随し、両面接着テープの需要に応え、収益を拡大させています。

以上の結果、売上収益は前第2四半期と比較し20.3%増(以下の比較はこれに同じ)の427,052百万円となりました。また、営業利益は133.0%増の68,242百万円、税引前四半期利益は136.9%増の68,352百万円、四半期利益は129.6%増の47,598百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は131.1%増の47,554百万円となりました。

セグメント別の業績概況

① インダストリアルテープ

トランスポーターション事業の自動車材料は、前年同期に比べ、欧米など市場全体の自動車生産台数の低下の影響を受けたものの、円安などにより収益を回復することができました。基盤機能材料ではエレクトロニクス分野で、デバイス、機器内の部品、部材の接着用途や製造現場でのプロセス用途の両面テープ、保護材料などが堅調に推移しました。特にスマートフォン向け両面粘着テープは、ハイエンドモデルの新製品向けの採用が増え、大きく伸長しています。

以上の結果、売上収益は166,569百万円(11.9%増)、営業利益は16,966百万円(41.2%増)となりました。

② オプトロニクス

情報機能材料では、前年度後半から好調なスマートフォン、タブレットやノートPC用途の液晶ディスプレイ向け光学フィルムが力強く伸びました。さらに、有機EL(OLED)ディスプレイを用いた新しいハイエンドスマートフォン向けのタッチパネル用透明導電性フィルムや透明粘着シート、工程用の保護フィルムなどの出荷が本格化し、業績に大きく貢献しています。プリント回路は、ハードディスクドライブ(HDD)の出荷台数が前年同時期に比べ減少したものの、円安の影響とデータセンタ用大容量機種の大増等、前年同期比で増収となりました。プロセス材料も前年同期比では増収となりましたが、当初想定していた半導体市場の成長による高い需要見通しには届きませんでした。

以上の結果、売上収益は249,773百万円(29.2%増)、営業利益は50,490百万円(282.3%増)となりました。

③ ライフサイエンス

ライフサイエンス事業では、核酸医薬の米国受託製造子会社において、これまでの製造能力を2倍超にまで引き上げる核酸医薬原薬製造設備を追加導入し、8月に稼働を開始しました。前年同期比では増収となったものの、今回の能力増強投資に伴うコスト増と一部のプロジェクトに対する価格対応の影響などもあり、利益面では伸び悩みました。また、核酸医薬を用いた創薬ビジネスにおいては、肝硬変治療薬に続くパイプラインとなる製品を創り上げるべく、昨年米国西海岸に設立した拠点を中心に研究開発を継続しています。

以上の結果、売上収益は15,364百万円(4.9%増)、営業利益は1,752百万円(60.6%減)となりました。

④ その他

メンブレン(高分子分離膜)では、原油価格の安定的な推移により、中東諸国の一部で海水淡水化案件に再開の兆しが見られ、受注も上向いているものの、好調だった前年同期比では減収減益となりました。また、当セグメントには未だ十分な売上収益を伴っていない新規事業が含まれています。

以上の結果、売上収益は12,825百万円(4.9%減)、営業利益は200百万円(66.0%減)となりました。

(参考) セグメント別の状況 (6ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	基盤機能材料	88,720	103,224	116.3
	トランスポートーション	60,172	63,344	105.3
	計	148,893	166,569	111.9
	営業利益	12,013	16,966	141.2
オプトロニクス	情報機能材料	161,606	216,905	134.2
	プリント回路	20,106	20,759	103.2
	プロセス材料	11,661	12,108	103.8
	計	193,374	249,773	129.2
	営業利益	13,208	50,490	382.3
ライフサイエンス	売上収益	14,642	15,364	104.9
	営業利益	4,446	1,752	39.4
その他	売上収益	13,480	12,825	95.1
	営業利益	591	200	34.0
全社・消去	売上収益	△15,412	△17,480	—
	営業利益	△966	△1,168	—
合計	売上収益	354,978	427,052	120.3
	営業利益	29,293	68,242	233.0

※ 前第3四半期連結会計期間においてメディカル事業の量的重要性が増したことに伴い管理体制の変更を行ったこと、及び第1四半期連結会計期間においてマネジメント体制の変更を行った結果、報告セグメントの分類に一部変更があります。また、第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用の配賦方法を変更しております。前第2四半期連結累計期間数値は、これらの変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (3ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	基盤機能材料	46,875	55,721	118.9
	トランスポートーション	29,790	31,941	107.2
	計	76,666	87,663	114.3
	営業利益	6,419	9,559	148.9
オプトロニクス	情報機能材料	87,685	117,072	133.5
	プリント回路	10,386	10,380	99.9
	プロセス材料	5,972	6,416	107.4
	計	104,045	133,869	128.7
	営業利益	9,051	28,969	320.0
ライフサイエンス	売上収益	7,794	7,101	91.1
	営業利益	2,068	235	11.4
その他	売上収益	6,468	6,527	100.9
	営業利益	192	32	17.1
全社・消去	売上収益	△8,408	△9,296	—
	営業利益	△179	△894	—
合計	売上収益	186,566	225,865	121.1
	営業利益	17,552	37,902	215.9

※ 前第3四半期連結会計期間においてメディカル事業の量的重要性が増したことに伴い管理体制の変更を行ったこと、及び第1四半期連結会計期間においてマネジメント体制の変更を行った結果、報告セグメントの分類に一部変更があります。また、第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用の配賦方法を変更しております。前第2四半期連結会計期間数値は、これらの変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (年度予想)

(単位: 百万円 比率: %)

		当連結会計年度 (今回予想) (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	
		売上収益	前年同期比
インダストリアルテープ	基盤機能材料	210,000	112.8
	トランスポートーション	130,000	104.6
	計	340,000	109.5
	営業利益	35,000	127.6
オプトロニクス	情報機能材料	435,000	123.3
	プリント回路	40,000	93.3
	プロセス材料	25,000	106.8
	計	500,000	119.3
ライフサイエンス	営業利益	100,000	206.3
	売上収益	32,000	72.0
その他	営業利益	4,000	18.9
	売上収益	26,000	99.9
全社・消去	営業利益	△500	-
	売上収益	△38,000	-
合計	営業利益	△3,500	-
	売上収益	860,000	112.0
	営業利益	135,000	145.8

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ資産合計は63,284百万円増加し、943,184百万円となり、負債合計は22,162百万円増加し、247,640百万円となりました。また、資本合計は41,121百万円増加し、695,543百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の74.3%から73.7%になりました。

主な増減は資産では、現金及び現金同等物が17,016百万円増加、売上債権及びその他の債権が33,326百万円増加、棚卸資産が6,256百万円増加しました。負債では、仕入債務及びその他の債務が13,105百万円増加、その他の流動負債が1,158百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

スマートフォンやタブレットPC向け液晶用光学フィルムが引き続き好調であることに加え、下期にかけてもスマートフォン用有機EL(OLED)パネル向けの需要拡大が見込まれるため、2018年3月期通期連結累計期間の連結業績予想を見直しました。

第3四半期以降の為替レートについては、1米ドル=110円を変更していません。

2018年3月期通期連結業績予想数値の修正(2017年4月1日から2018年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	800,000	100,000	100,000	70,000	70,000	431.24
今回修正予想 (B)	860,000	135,000	135,000	98,000	98,000	603.43
増減額 (B-A)	60,000	35,000	35,000	28,000	28,000	—
増減率 (%)	7.5	35.0	35.0	40.0	40.0	—
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	767,710	92,589	91,791	63,690	63,453	390.94

上記の業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	280,343	297,360
売上債権及びその他の債権	173,362	206,688
棚卸資産	88,701	94,957
その他の金融資産	5,455	7,648
その他の流動資産	15,936	18,504
流動資産合計	563,798	625,160
非流動資産		
有形固定資産	249,541	248,955
のれん	7,300	7,423
無形資産	13,829	13,098
持分法で会計処理されている投資	326	337
金融資産	8,799	9,361
繰延税金資産	27,087	28,730
その他の非流動資産	9,215	10,116
非流動資産合計	316,100	318,023
資産合計	879,899	943,184

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	110,840	123,945
社債及び借入金	1,097	1,454
未払法人所得税等	15,978	19,483
その他の金融負債	9,660	12,418
その他の流動負債	36,980	38,138
流動負債合計	174,557	195,440
非流動負債		
社債及び借入金	3,000	3,000
その他の金融負債	1,449	1,679
確定給付負債	42,838	44,338
繰延税金負債	847	759
その他の非流動負債	2,784	2,422
非流動負債合計	50,920	52,199
負債合計	225,477	247,640
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	56,139	55,872
利益剰余金	603,886	639,267
自己株式	△50,876	△50,512
その他の資本の構成要素	17,839	23,457
親会社の所有者に帰属する持分合計	653,772	694,868
非支配持分	648	675
資本合計	654,421	695,543
負債及び資本合計	879,899	943,184

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上収益	354,978	427,052
売上原価	257,243	285,398
売上総利益	97,735	141,653
販売費及び一般管理費	53,020	57,220
研究開発費	15,188	15,814
その他の収益	2,909	2,766
その他の費用	3,142	3,142
営業利益	29,293	68,242
金融収益	524	623
金融費用	961	524
持分法による投資損益 (△は損失)	△5	10
税引前四半期利益	28,851	68,352
法人所得税費用	8,117	20,754
四半期利益	20,733	47,598
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	20,576	47,554
非支配持分	157	43
合計	20,733	47,598
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	126.78	292.87
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	126.61	292.55

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益	20,733	47,598
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	△142	402
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△31,140	5,196
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	22	16
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△12	2
その他の包括利益合計	△31,272	5,619
四半期包括利益合計	△10,538	53,217
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	△10,498	53,172
非支配持分	△40	45
合計	△10,538	53,217

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2016年4月1日残高	26,783	56,681	559,351	△51,016	22,624	614,425	3,465	617,891
四半期利益	—	—	20,576	—	—	20,576	157	20,733
その他の包括利益	—	—	—	—	△31,074	△31,074	△197	△31,272
四半期包括利益合計	—	—	20,576	—	△31,074	△10,498	△40	△10,538
株式報酬取引	—	40	—	—	—	40	—	40
配当金	—	—	△11,360	—	—	△11,360	△151	△11,512
自己株式の変動	—	△13	—	71	—	58	—	58
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	—	—	0	—	△0	—	—	—
子会社持分の追加取 得による増減	—	△626	—	—	—	△626	△2,598	△3,224
所有者との取引額等 合計	—	△599	△11,359	71	△0	△11,887	△2,750	△14,638
2016年9月30日残高	26,783	56,082	568,568	△50,944	△8,450	592,039	675	592,714

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2017年4月1日残高	26,783	56,139	603,886	△50,876	17,839	653,772	648	654,421
四半期利益	—	—	47,554	—	—	47,554	43	47,598
その他の包括利益	—	—	—	—	5,617	5,617	1	5,619
四半期包括利益合計	—	—	47,554	—	5,617	53,172	45	53,217
株式報酬取引	—	△284	—	—	—	△284	—	△284
配当金	—	—	△12,174	—	—	△12,174	△18	△12,192
自己株式の変動	—	17	—	363	—	380	—	380
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	—	—	0	—	△0	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	△266	△12,174	363	△0	△12,077	△18	△12,095
2017年9月30日残高	26,783	55,872	639,267	△50,512	23,457	694,868	675	695,543

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	28,851	68,352
減価償却費及び償却費	24,225	24,598
確定給付負債の増減額	1,536	1,417
売上債権及びその他の債権の増減額	△19,852	△31,210
棚卸資産の増減額	△811	△5,073
仕入債務及びその他の債務の増減額	13,015	11,347
利息及び配当金の受入額	416	590
利息の支払額	△197	△186
法人税等の支払額又は還付額	△4,452	△19,208
その他	4,702	2,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,435	53,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△22,716	△22,815
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	99	99
定期預金の増減額	2,075	△3,375
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,796	—
その他	△63	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,401	△26,109
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△1,454	311
自己株式の増減額	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3,224	—
配当金の支払額	△11,360	△12,174
その他	△151	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,191	△11,881
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	△13,967	1,808
現金及び現金同等物の増減額	△8,125	17,016
現金及び現金同等物の期首残高	240,891	280,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	232,766	297,360

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位: 百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	142,049	187,133	13,340	11,909	354,433	545	354,978
セグメント間の売上収益	6,843	6,240	1,302	1,571	15,957	△15,957	—
セグメント売上収益合計	148,893	193,374	14,642	13,480	370,391	△15,412	354,978
営業利益(△は損失) 合計	12,013	13,208	4,446	591	30,259	△966	29,293
金融収益							524
金融費用							△961
持分法による投資損益 (△は損失)							△5
税引前四半期利益							28,851

(注) 前第3四半期連結会計期間においてメディカル事業の量的重要性が増したことに伴い管理体制の変更を行ったこと、及び第1四半期連結会計期間においてマネジメント体制の変更を行った結果、報告セグメントの分類に一部変更があります。また、第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用の配賦方法を変更しております。前第2四半期連結累計期間数値は、これらの変更を反映した数値を記載しております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路、プロセス材料
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	159,986	242,527	12,677	11,207	426,398	653	427,052
セグメント間の売上収益	6,583	7,245	2,686	1,618	18,133	△18,133	—
セグメント売上収益合計	166,569	249,773	15,364	12,825	444,532	△17,480	427,052
営業利益(△は損失) 合計	16,966	50,490	1,752	200	69,410	△1,168	68,242
金融収益							623
金融費用							△524
持分法による投資損益 (△は損失)							10
税引前四半期利益							68,352

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路、プロセス材料
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

(重要な後発事象)

該当事項はありません。